

(証券コード6325 東証・名証1部)

2018年3月期第2四半期 決算説明会資料



 **Takakita**

1

2018年3月期第2四半期
決算の概要

2

当期の業績予想

3

経営TOPIXと
今後の成長戦略

1. 2018年3月期 第2四半期決算の概要

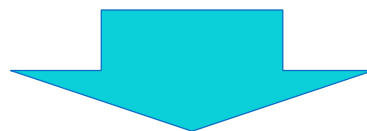


【農業機械事業】

- ロールベアラ、マニアスプレッタ等の基軸製品の更新需要や国の「畜産クラスター事業」の後押しに加え、中国向けの輸出も増加したことにより増収。
(前年比18.9%増)
売上高増加に伴う増益。
(販管費比率2.6ポイント減)

【軸受事業】

- 風力発電用軸受等の受注が減少し、減収。(前年比19.7%減)



**売上高、各利益とも前年比増収、増益
当初業績予想を上回って進捗**

2018年3月期第2四半期決算の概要

Takakita

(単位: 百万円)

科 目	2017/3期 2Q実績		2018/3期2Q					
			当初予想		実績			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比	予想比
売 上 高	3,615	—	4,000	—	4,168	—	15.3%	4.2%
営 業 利 益	444	12.3%	450	11.3%	597	14.3%	34.4%	32.7%
経 常 利 益	467	12.9%	470	11.8%	620	14.9%	32.7%	31.9%
当 期 純 利 益	329	9.1%	330	8.3%	435	10.4%	32.0%	31.8%

■セグメント内訳(セグメント相殺前)

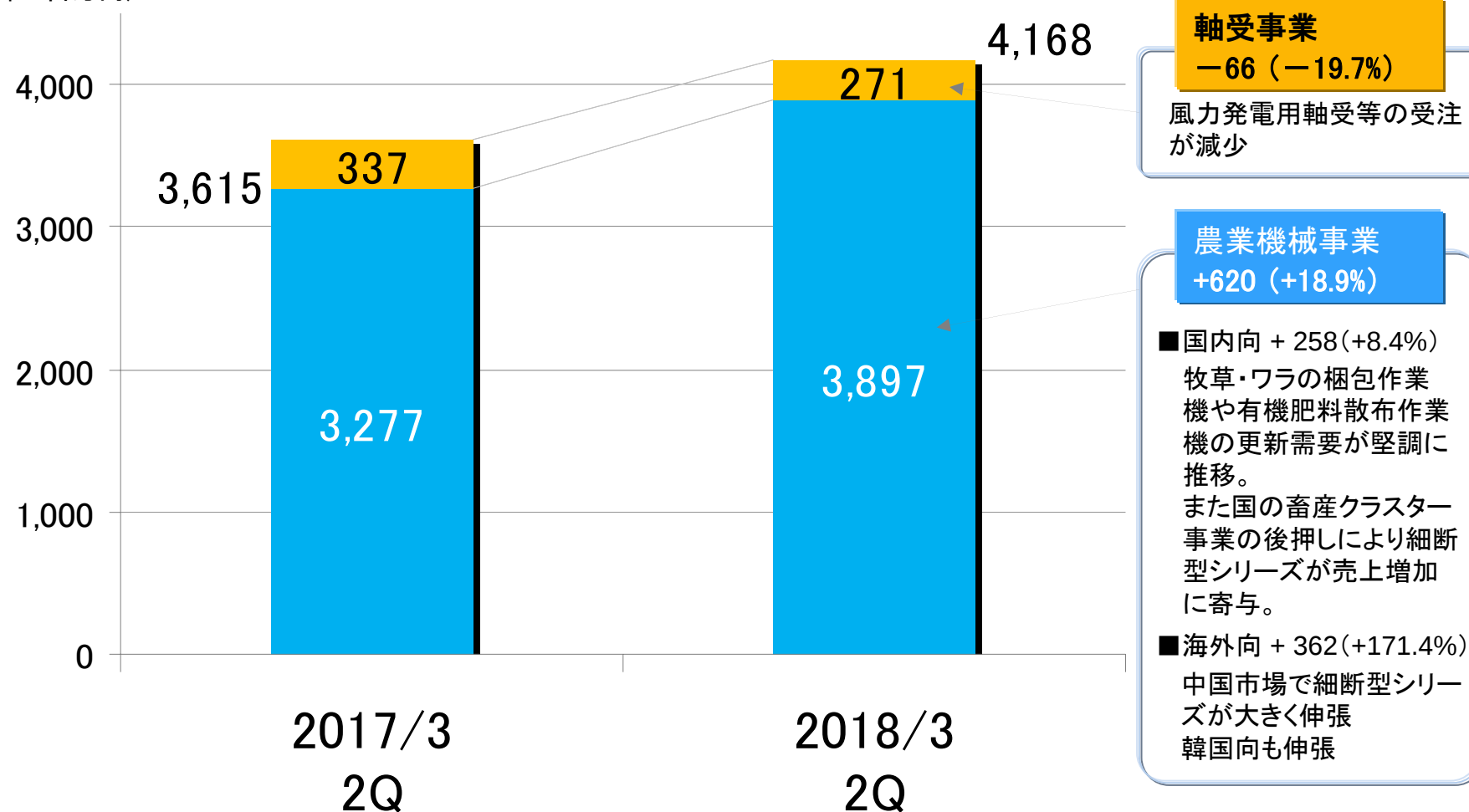
農 機	売 上 高	3,277	—	3,691	—	3,897	—	18.9%	5.6%
	営業利益	410	12.5%	450	12.2%	589	15.1%	43.8%	31.0%
軸 受	売 上 高	337	—	309	—	271	—	−19.7%	−12.2%
	営業利益	30	9.0%	0	0%	−2	−0.7%	—	—

セグメント別売上高

Takakita

■ 農業機械事業は増加、軸受事業は減少

(単位: 百万円)

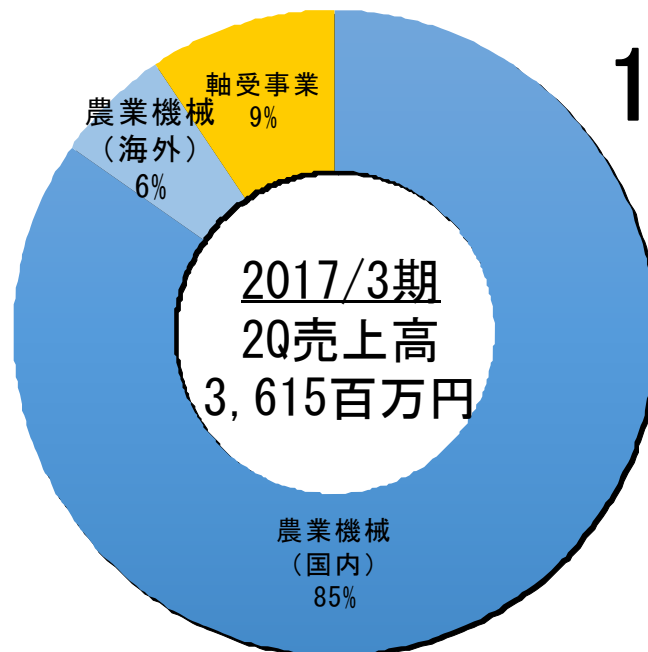


セグメント別売上占率

Takakita

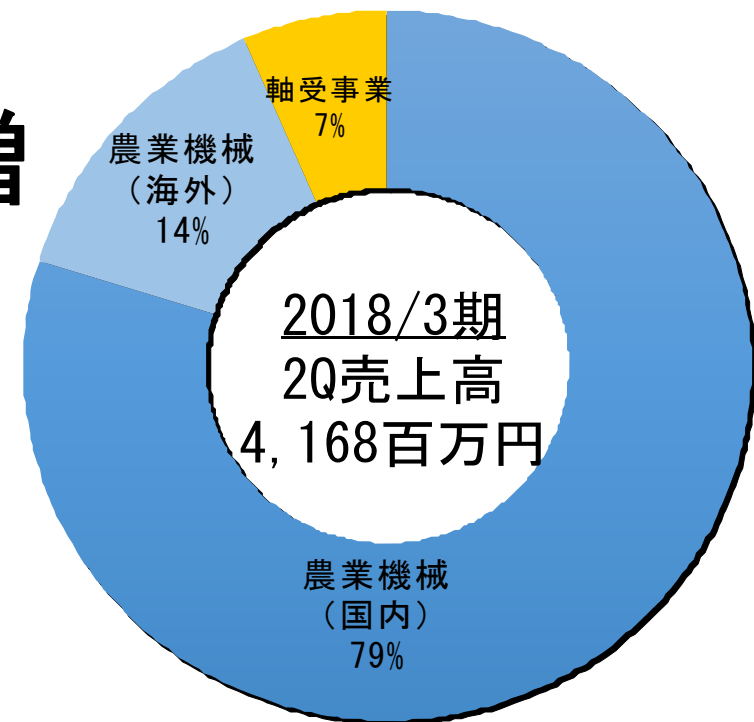
- 農業機械事業のうち、海外売上が伸張

2017/3期



15.3%増

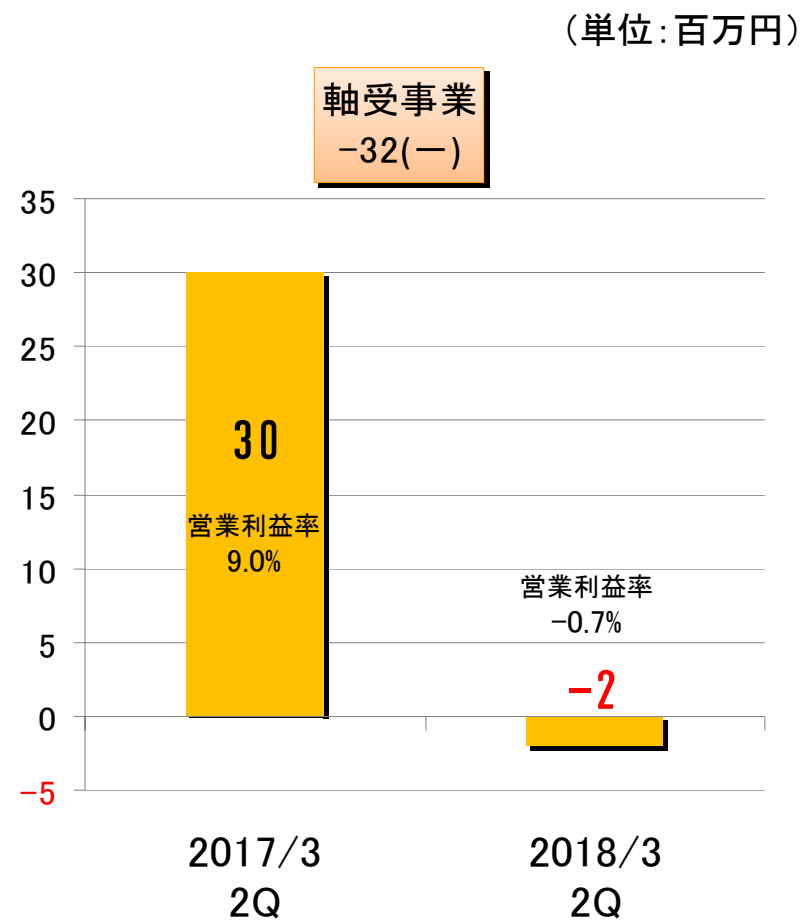
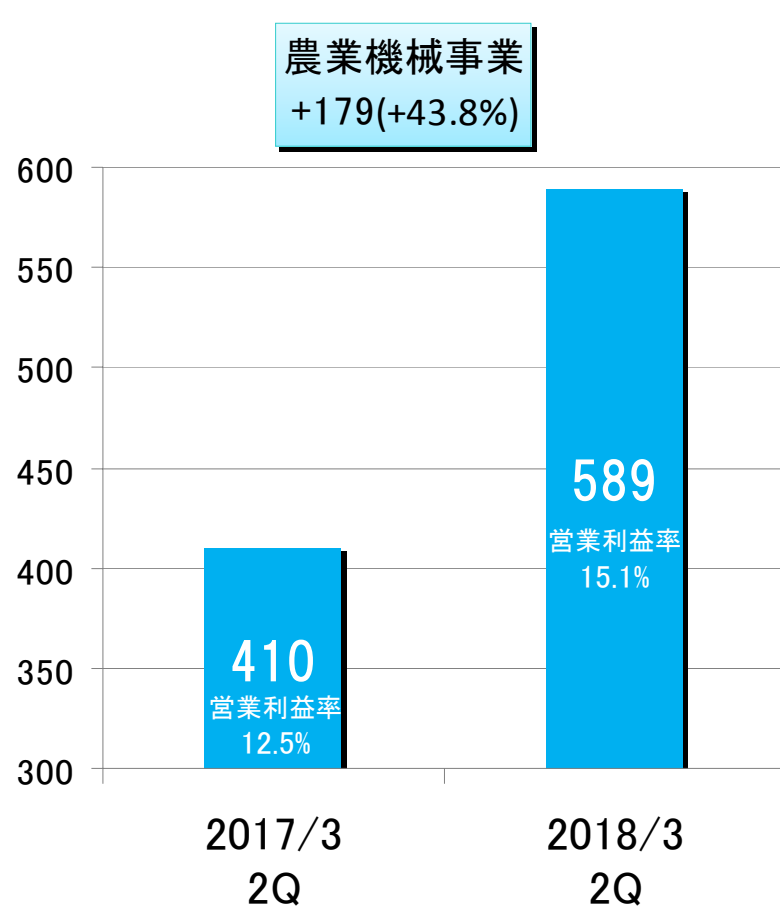
2018/3期



セグメント利益

Takakita

- 農業機械事業は増益、軸受事業は減益
- 全体の営業利益率は14.3%となり、目標とする営業利益率水準(10%以上)を上回って推移



貸借対照表

Takakita

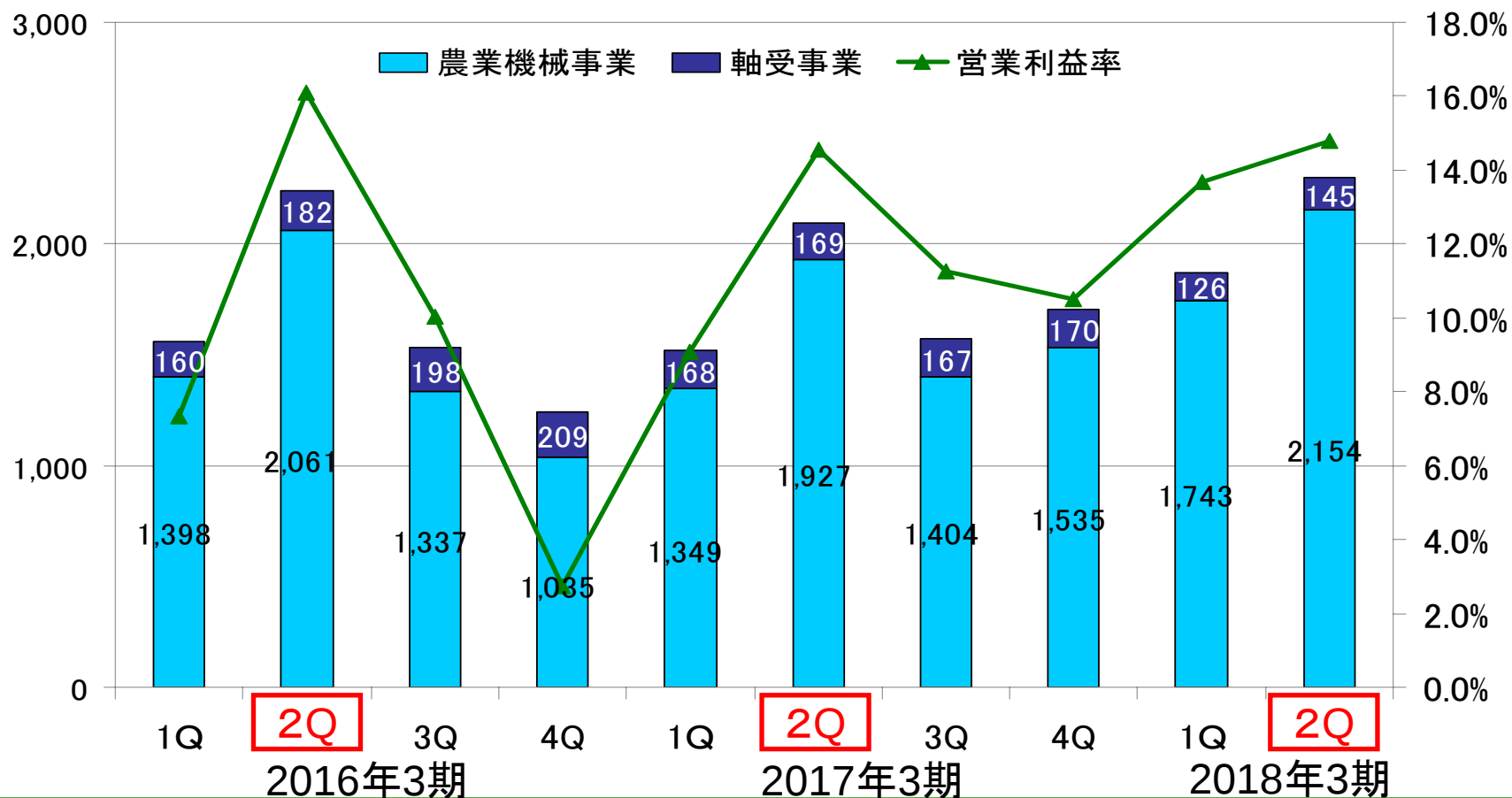
(単位:百万円)	2017/3期	2018/3期 2Q	差異	
資産の部				
流動資産	4,263	5,027	764	電子記録債権:+272 受取手形及び 売掛金:+289
固定資産	3,203	3,502	299	
(資産合計)	7,466	8,530	1,063	建 物 : +186 機械及び装置 : +48
負債の部				
流動負債	1,597	2,245	648	
固定負債	494	500	5	支払手形及び 買掛金:- 277 電子記録債務:+640 未 払 金 :+108
(負債合計)	2,092	2,746	654	
(純資産合計)	5,374	5,783	409	
負債純資産合計	7,466	8,530	1,063	

◎自己資本比率の推移

2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3 2Q
60.9%	67.4%	68.9%	71.9%	67.6%

四半期業績推移(売上高)

当社の農業機械部門の収益性は2Qが一番高く、4Qは不需要期のため他の四半期と比較して低くなる傾向にあります。



2. 当期の業績予想



【農業機械事業】

- 国の「畜産クラスター事業」の後押しによる、細断型シリーズを中心としたエサづくり関連作業機が引続き堅調に推移する見込み。
- 海外は主に中国向け輸出が伸張の見込み。
- 通期では、原材料を中心とした資材高騰及び自然災害が発生した場合に大きな影響を及ぼすことが懸念されることから、当初発表数値から変更なし。

【軸受事業】

- 風力発電用軸受等の受注減少の見込み。



**売上高は3期連続の増収を予想
営業利益、経常利益、当期利益は微減益を予想**

2018年3月期業績予想の概要

Takakita

(単位: 百万円)

科 目	2017/3期実績		2018/3期予想			2018/3期2Q	
	金額	構成比	通期 予想	構成比	前期 増減率	金額	進捗率
売 上 高	6,892	—	7,000	—	+1.6%	4,168	59.6%
営 業 利 益	800	11.6%	800	11.4%	−0.1%	597	74.6%
経 常 利 益	838	12.2%	830	11.9%	−1.0%	620	74.7%
当 期 純 利 益	595	8.6%	580	8.3%	−2.6%	435	75.0%

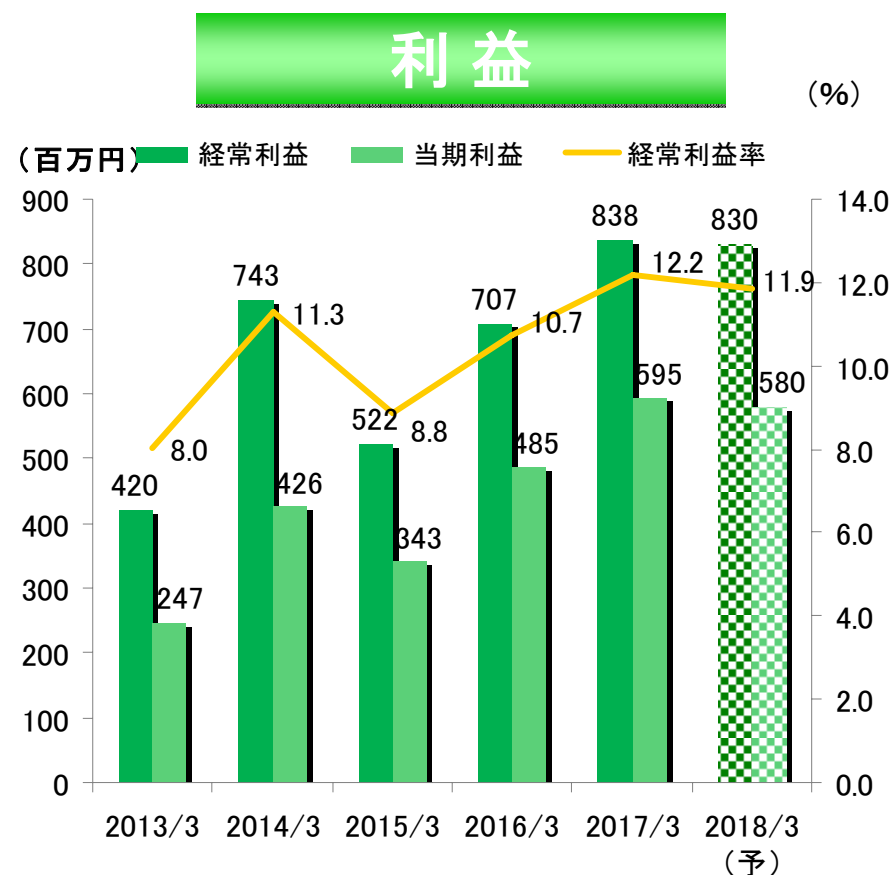
■セグメント内訳(セグメント相殺前)

農 機	売 上 高	6,216	—	6,370	—	+2.5%	3,897	61.2%
	営 業 利 益	711	11.4%	786	11.2%	+10.5%	589	75.0%
軸 受	売 上 高	675	—	630	—	−6.8%	271	43.1%
	営 業 利 益	76	11.3%	14	0.2%	−81.7%	△2	—

過去の業績推移と当期業績予想

Takakita

- 2015/3期は消費税率引上げに伴う駆け込み需要や前年の緊急支援リース事業による機械導入の反動の影響を受け減収。
2016/3期以降、国の畜産クラスター事業の後押しや、中国向け輸出増加により堅調に推移。



販売が好調な 細断型シリーズ



品名	2016年3月期 販売台数 (4月~3月)	2017年3月期 販売台数 (4月~3月)	2018年3月期 販売台数※ (4~9月実績+受注)	対 前年比
細断型 ホールクロップ収穫機	51台 (うち海外向0台)	62台 (うち海外向0台)	51台 (うち海外向0台)	82%
汎用型(微細断) 飼料収穫機	29台 (6台)	25台 (4台)	39台 (11台)	156%
細断型ロールベアラ コンビラップ	87台 (45台)	85台 (54台)	127台 (76台)	149%

設備投資・減価償却・研究開発費

Takakita

単位: 百万円

	設備 投資額	売上 対比	減価 償却費	売上 対比	研究 開発費	売上 対比	売上高
2016/3期	318	4.8%	257	3.9%	87	1.3%	6,582
2017/3期	380	5.5%	240	3.5%	83	1.2%	6,892
2018/3期 (予定)	545	7.8%	280	4.0%	90	1.3%	7,000
上期実績	339	8.1%	118	2.8%	45	1.1%	4,168

- 2016年3月期の設備投資は主に南東北営業所の新設に係るもの
- 2017年3月期は軸受部門の機械及び装置ならびに軸受工場の耐震補強工事や研究開発に係る走行試験場等の設備投資を実施
- 2018年3月期は農業機械部門における研究開発棟の新築や試験設備、および農機工場の生産ライン増設工事等を実施

経営体質強化による
企業価値の向上



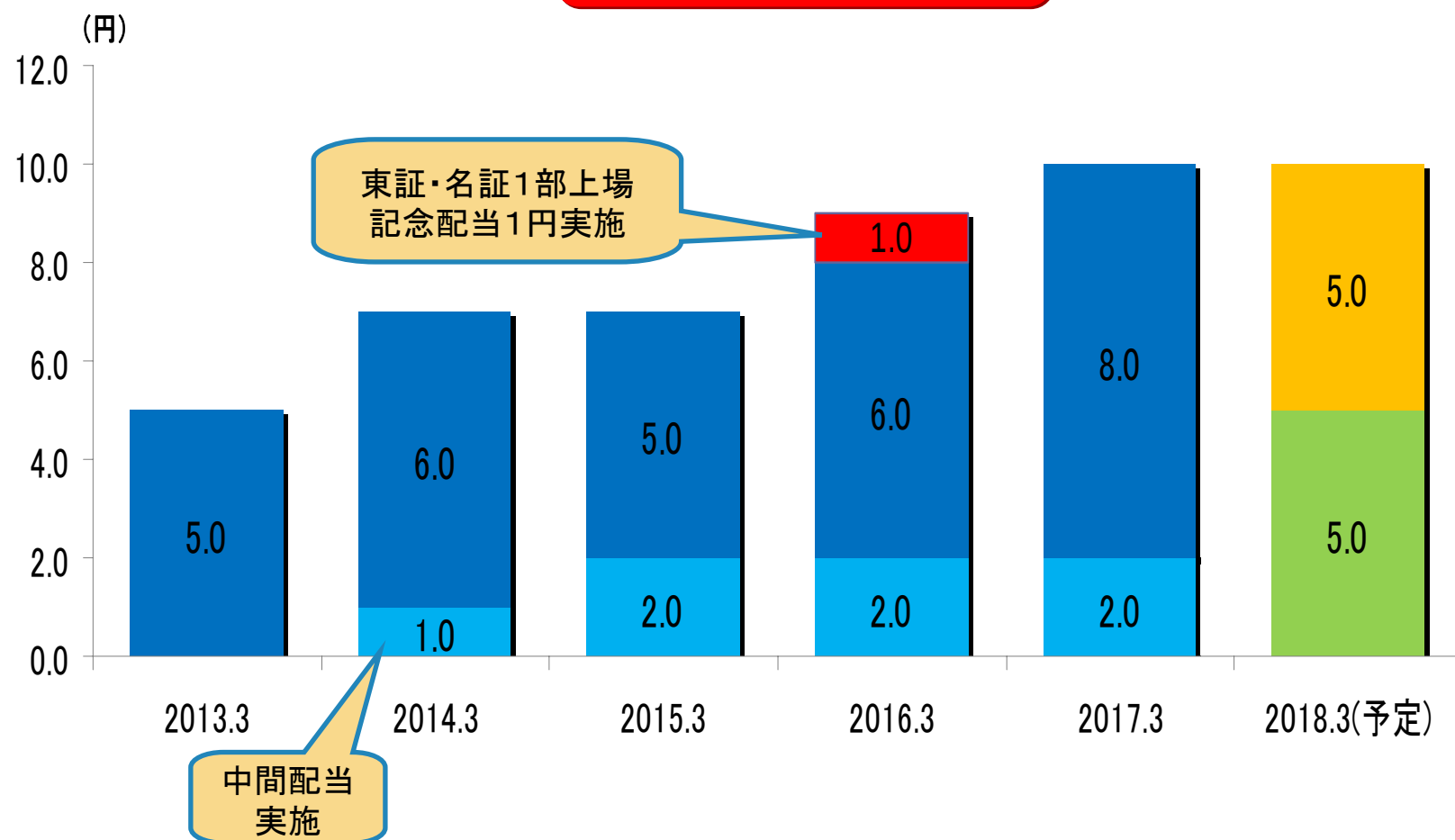
安定した
継続的な配当

株主の皆様の期待に応える利益還元を目指す

株主優待制度

基準日	保有株数	優待内容	贈呈時期
9月末日	100株以上1,000株未満	クオカード: 500円分	12月予定
	1,000株以上	クオカード: 1,000円分	

年間配当金



3. 経営TOPIXと 今後の成長戦略



- 2016年7月 当社製品の評価、解析を行うテストコース及び性能測定施設を新設
- 2017年9月 試作工場併設の研究開発棟を新設



新たな食料自給率目標等

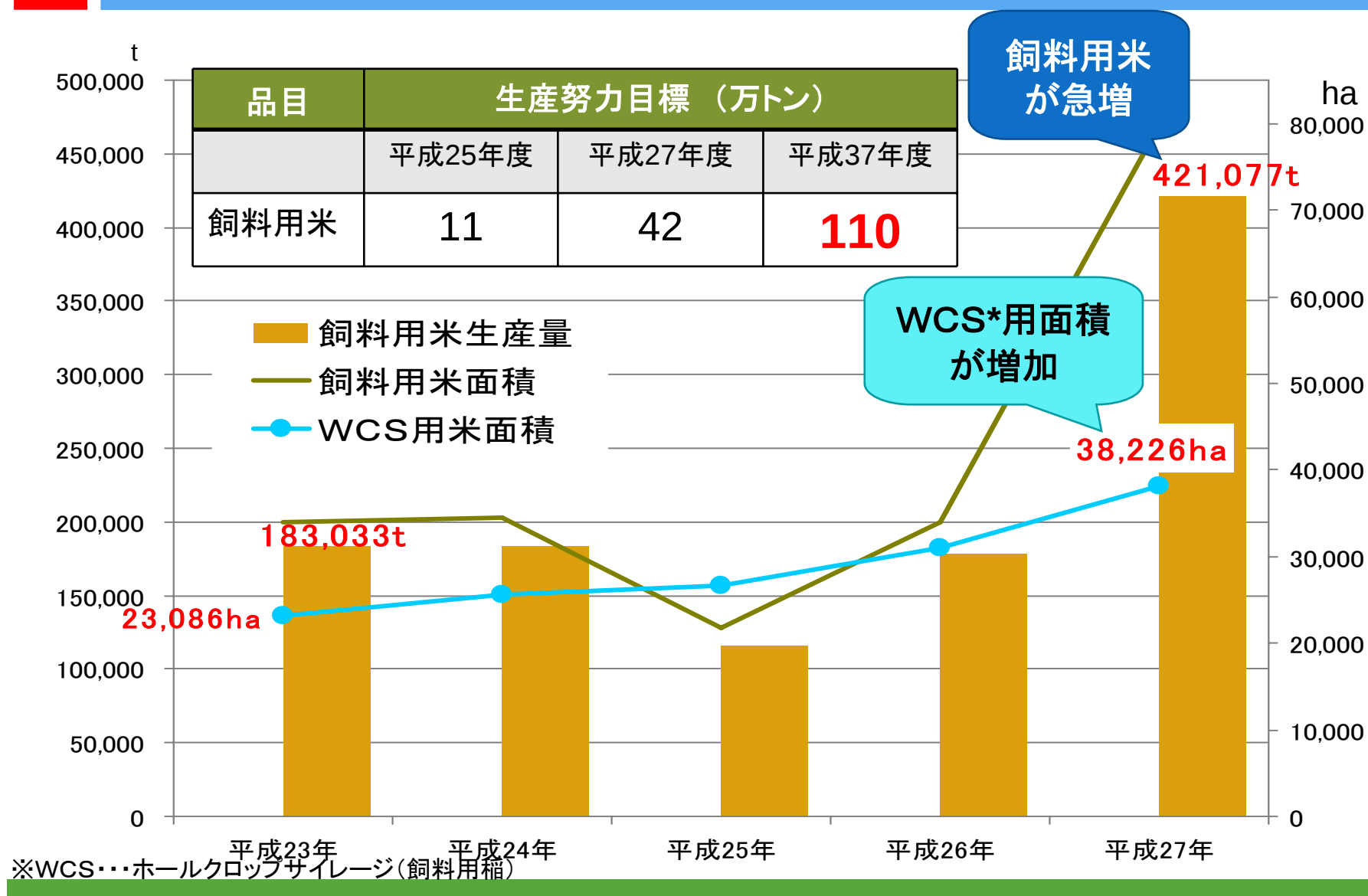
平成22年基本計画の検証結果を踏まえ、新たな目標は、「計画期間内の実現可能性を重視」して設定。

新たな食料自給率目標等

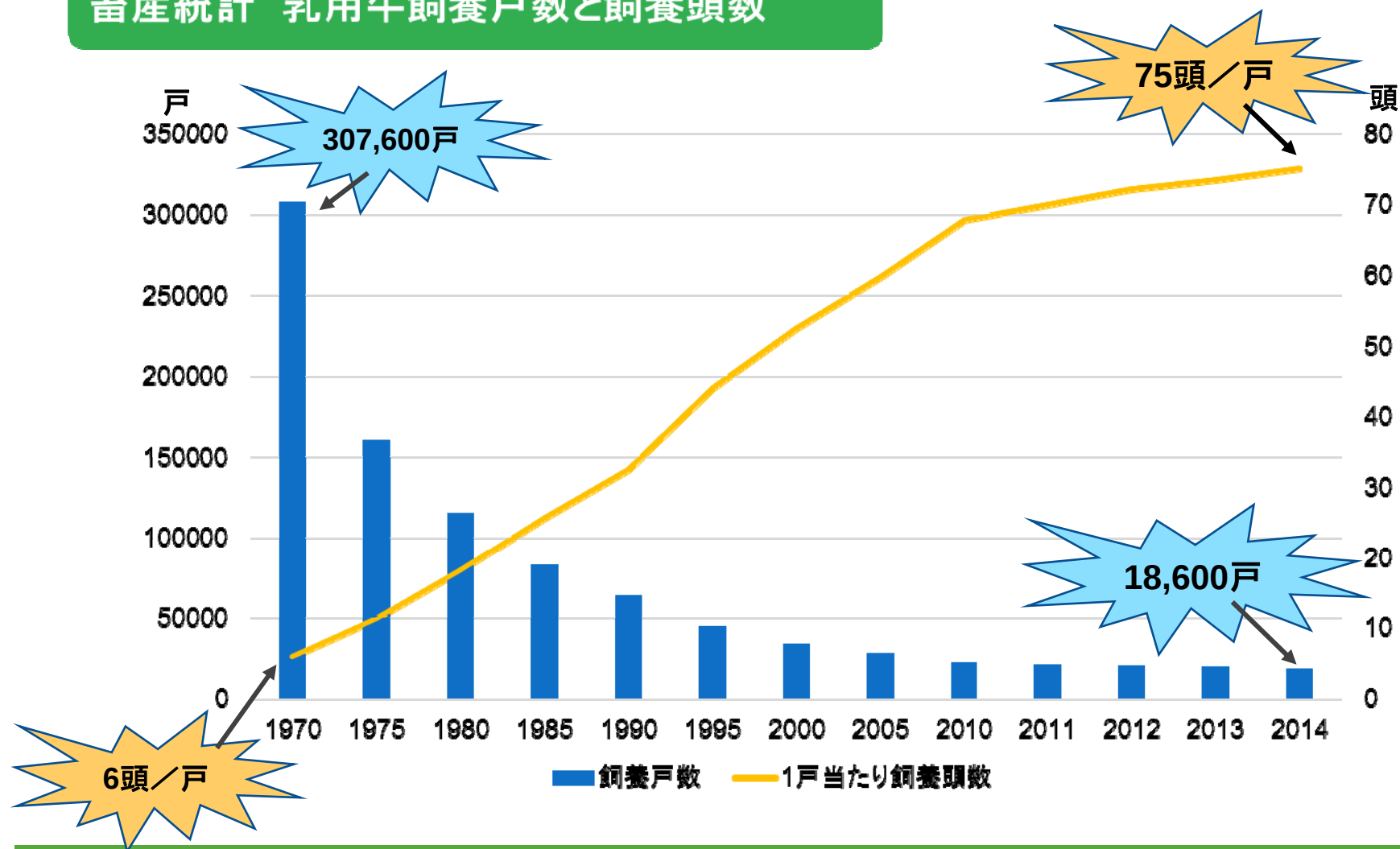
		平成28年度	平成37年度 (目標年度)
平成27年 基本計画	カロリーベース	38%	45%
	生産額ベース	68%	73%
	飼料自給率	27%	40%

新規需要米等の生産量と作付面積の推移

Takakita

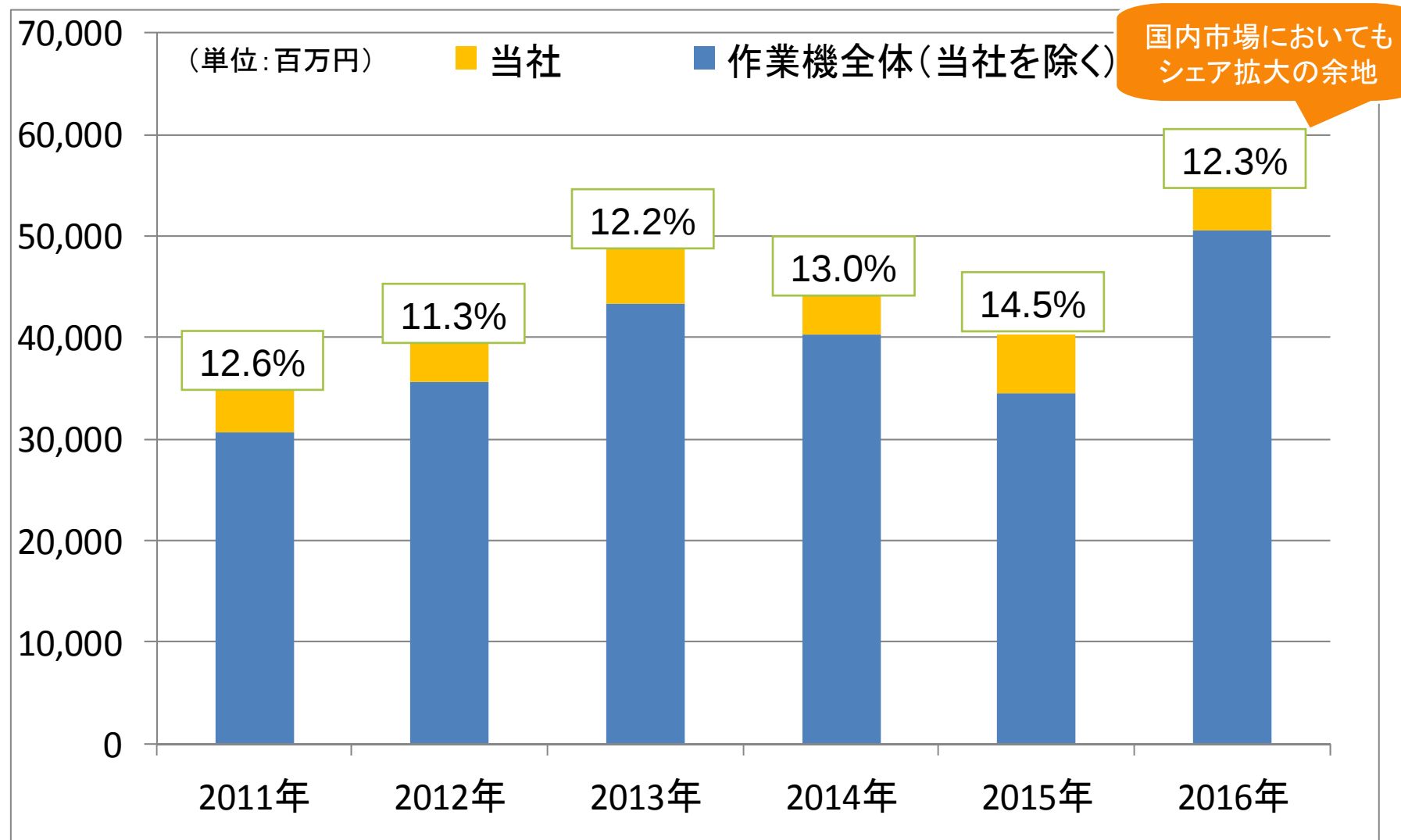


畜産統計 乳用牛飼養戸数と飼養頭数



国内農業用作業機業界の動向(シェア割合)

Takakita



Offensive 110

期間：平成25年4月 ～ 平成35年3月 までの10年間

<企業方針>

- ・グローバルニッチであっても本気で一流企業を目指す。
- ・新たな収益機会の開発や市場創造と優位性基盤の確立を図る。
- ・最高の商品とサービスを創造し、お客様に真の満足をご提供する。

<行動方針>

- ・常に現状否定に徹し、安易な妥協はしない。
- ・常にひとつ上の基準・視点に立って判断、行動する。

<SECOND STAGE スローガン>

「果敢な挑戦 確かな信頼 未来を創る Offensive110」

<国内向け戦略>

国の食料・農業・農村基本計画(食料自給率を2025年までに現在の39%から45%に引き上げる)に沿った製品開発や、「安全・安心」な食料の供給、「食料自給力」の維持向上をはかる「強い農業づくり」ができる製品開発を行い、それら製品を市場へ投入する。

- 国内での高品質な飼料増産に対応できる製品開発
- 「安全・安心」な有機作物が生産可能な製品開発
- 農業の省力化を実現し、健全な農業経営ができる製品開発
- 大規模化に対応する高能率な大型製品の開発
- 製品のICT化(作業機の様々な情報をトラクタに送信する仕組みや、GPSを利用した散布等)

<海外向け戦略>

中 国

合弁会社/山東五征高北農牧機械有限公司を核として、中国市場へ当社製品の販売を拡大する。

韓 国

市場は低迷している中、累計販売台数が600台以上のロールベアラシリーズの更新需要に対応する。

インド・パキスタン

小型ロールベアラの技術提携を契機とし、市場のマーケティング活動を行い当社製品の販路を開拓する。

欧 州

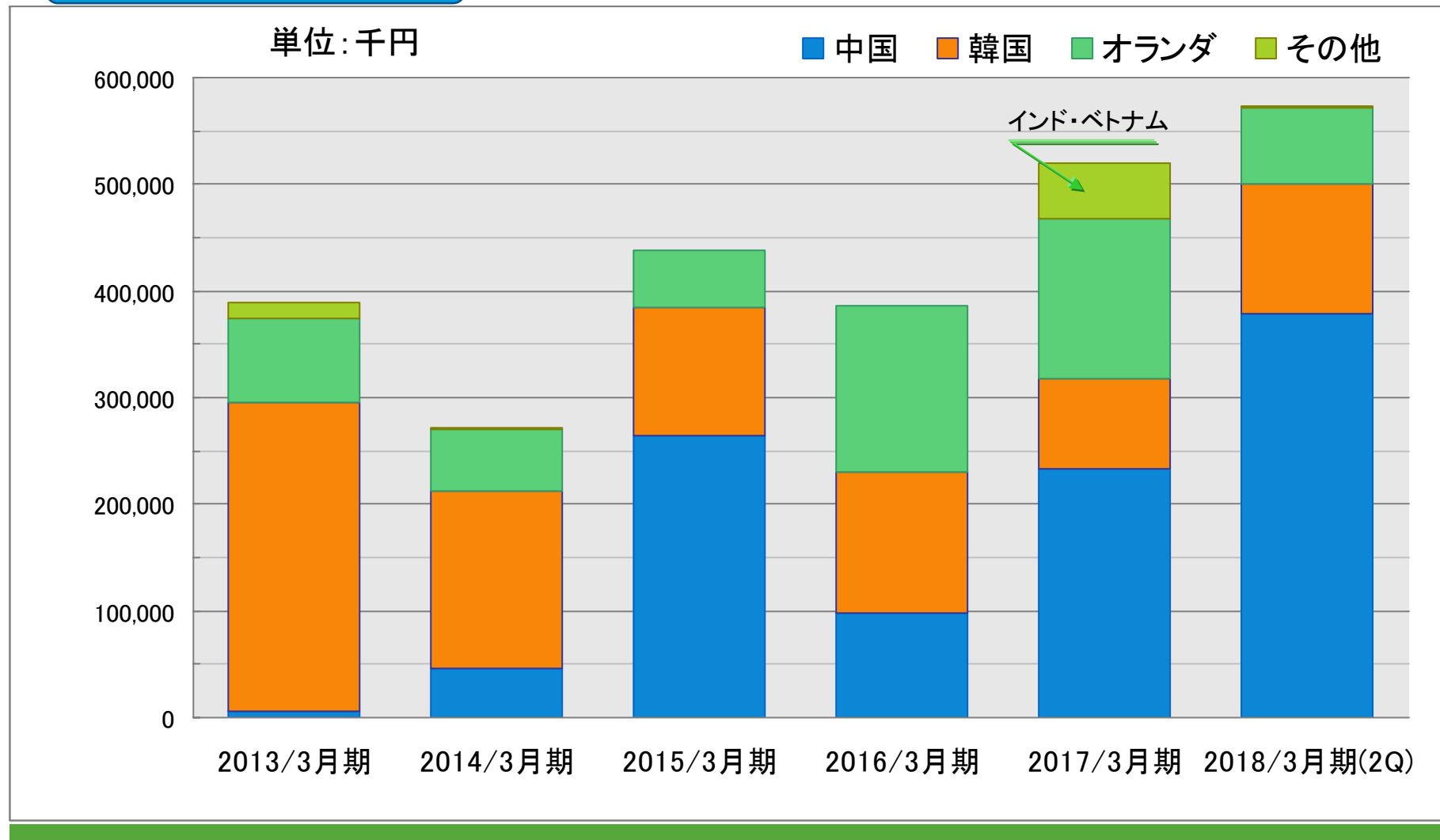
実績のあるオランダを核とし、EU市場の販売を拡大する。

その他

ベトナム・タイ・トルコ・ロシア・台湾・メキシコ等の市場調査と販路を開拓する。

海外売上高の推移

■ 2018年3月期2Qは中国向け輸出が大きく伸張

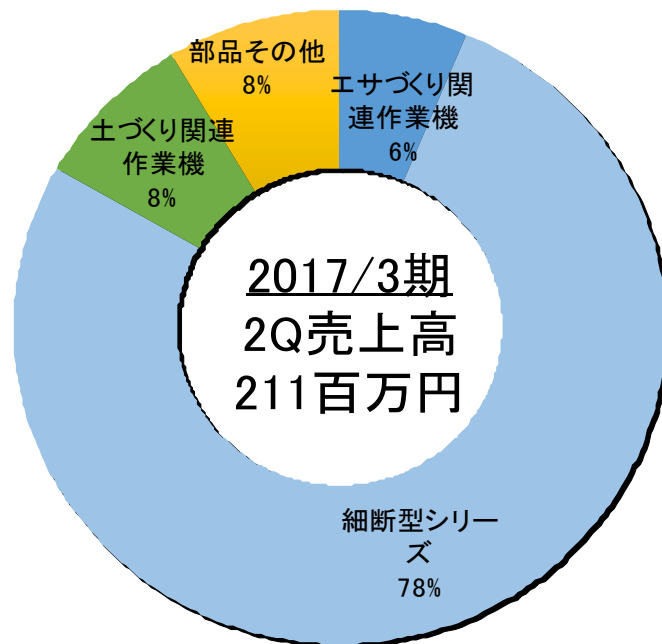


海外向製品別売上占率

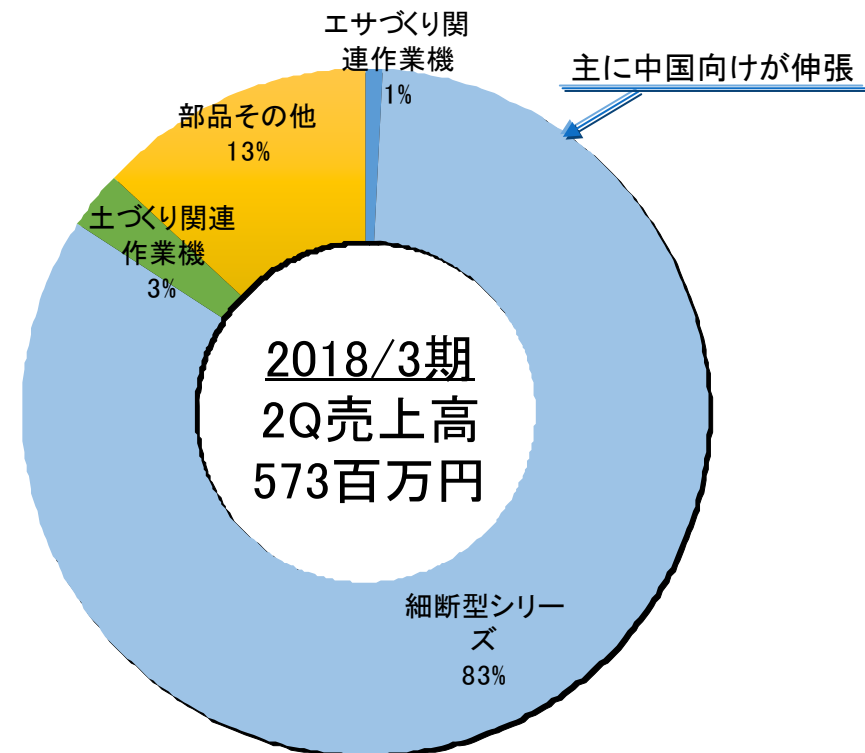
Takakita

■ 中国を中心に細断型シリーズの輸出が堅調

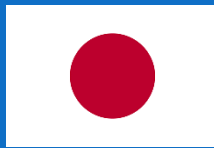
2017/3期



2018/3期



酪農関係指標の日中比較(2013年)

	単位	中国 	日本 	日本の
酪農家戸数	戸	1,890,600	19,400	97.5倍
乳用牛飼養頭数	千頭	14,429	1,423	10.1倍
1戸当たり飼養頭数	頭	8	73	0.1倍
生乳生産量	千トン	36,495	7,508	4.8倍
1頭当たり乳量	kg	5,500	8,154	0.7倍

資料: 農林水産省、中国国家统计局



どこまでもつづくコーン畑



黒龍江省 コーンの収穫作業

成長する中国市場



吉林省 コーンラッピング作業機



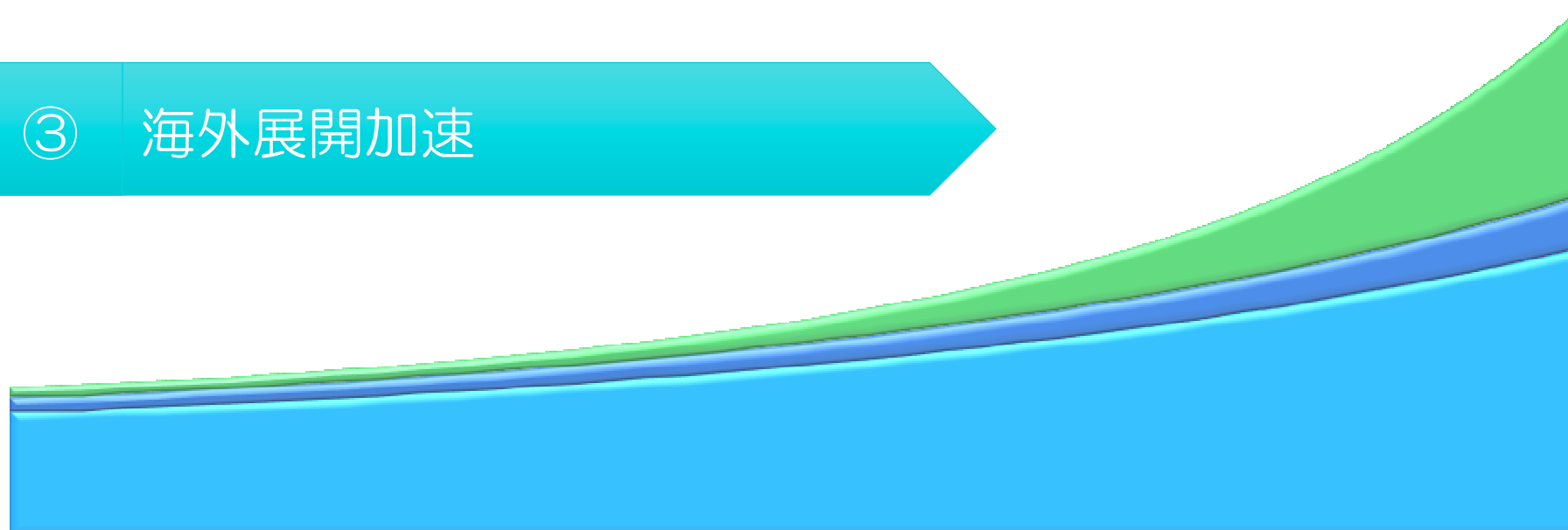
中国ハルビン国際装備製造業展示会

① 国内市場でのシェアアップ

② 軸受加工の受注拡大

③ 海外展開加速

2023年3月期を
目処に
売上高：100億円
営業利益率：10%以上
を目指す



今後とも、タカキタをよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

株式会社タカキタ 管理本部

E-mail: soumu@takakita-net.co.jp

TEL: 0595-63-3111

ホームページ: <http://www.takakita-net.co.jp/>

■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。